



# 福岡観世会

二十五世観世左近元正三十三回忌追善

令和四年



能  
千  
手  
郢曲之舞  
觀世  
觀世  
三郎太  
清和

日 時 5月21日(土)  
午後1時始(12時開場)

会 場 大濠公園能楽堂

入場券	S指定席	10,000円
	A指定席	8,000円
	自由席(桟敷席)	6,000円
	※当日券 各1,000円増し	

発売所 大濠公園能楽堂事務所  
☎092-715-2155



二十五世觀世友近元正三十三回

狂言	呂蓮	仕舞
野當藤	守麻戶	山階彌右衛門
角 寛次郎	觀世 芳伸	地謡
野村 万祿	吉良 後見	森坂鷹尾
多久島利之	飯富 章宏	本口鷹尾
白坂 保行	田中 相原	哲信維章
地謡 今村 鷹尾	一彦 達	郎男教弘
白坂 保行	杉山 博靖	嘉芳伸
地謡 章弘	俊広 講	維教
白坂 保行	吉良 博靖	嘉芳伸
白坂 保行	吉良 後見	嘉芳伸
白坂 保行	吉良 杉山	嘉芳伸
白坂 保行	吉良 俊広	嘉芳伸

			舞囃子
一調			
山姥	砧		
今村	坂口	信男	
嘉伸			
太鼓	地謡		
吉谷	井上裕之真	飯富	白坂
潔	久保誠一郎	章宏	保行
		相原	一彦
		坂口	
	貴信		
	山階彌右衛門		
	多久島利之		

仕舞	仕舞	仕舞	仕舞
善半蝉	葵葛敦賀	海杜経	小歌雲松清
界蔀丸	上城盛茂	土若正	鍛林治占院虫経
多久島法子	長宗敦子	菊本澄代	坂口久保誠一郎
地謡	地謡	地謡	地謡
今森鷹井村本嘉太郎	今井根口嘉祥	今村嘉貴信	今村嘉太郎
内尾根	内嘉	内貴政	内倉要
内嘉	嘉	政郎	二郎
内貴政	貴政	弘郎	一郎
内倉要	倉要	郎	郎
久保誠	誠	一	一
政	哲	信	信
德	郎	夫	丸

能千手

觀世三郎太  
清和

福王茂十郎

幸白坂  
正佳信行  
森田光次

坂口 貴信  
山階彌右衛門  
坂口 信男

地謡  
今村嘉太郎  
山口剛  
久保誠一郎  
今村嘉太郎  
夫郎

今村觀世 嘉伸芳伸

〔終了予定 午後五時頃〕



◆千手・鄧曲之舞(せんじゆのまこ)

旅僧から一夜の宿を請われた宿の主人は、快く迎え入ります。僧の話を聞くうちに出来事をしたくなつた主人は、妻や親族も承知済みだからと言い、それならばと僧は主人の髪を剃ります。更に主人は、名前も付けてくれとせがみ、僧はあれこれと提案しつつ、やつと「呂蓮」という名前に落ち着きます。そこへ食事を運んできた妻は、主人の姿に驚き…。

この度のお追善会には、シテが僧侶であることから、こちらの曲を選曲いたしました。

平重衡は、清盛の五男、美男の誉れ高く、凛々しい貴公子です。過去には父の命を受け、南都（奈良）佛寺の焼き討ちをしたこともあり、今回はノ谷の合戦でついに敗れ捕らわれの身となり、鎌倉へ護送されて参りました。預かり先の狩野介宗茂は、重衡へ憐憫の情を抱く源頼朝への忖度もあり、侍女千手を付け、手厚く世話をさせていました。出家の願い断たれ、先には恐らく処刑が待つことを察している重衡と、その心中を思いやり健気ivityに尽くす千手の、恋の物語です。

二人が向かい合い扇を開いて左手に持つのは琵琶と琴の連弾を表す型ですが、曲の至るところで束の間の二人の心の触れ合いが感じられつつ、最後の場面へと繋がります。

常の場合はシテが千手、ツレが重衡ですが、郢曲の小書が付きますと、兩人共にシテの、いわゆる両シテとなります。

呂蓮

追加

坂口 貴信

地図  
今村嘉太郎  
山口剛一郎

今世村嘉伸

〔終了予定 午後五時頃〕

1

主催／福岡観世会